

# 水産業再生ニュース(第5号)

平成 26年 8月 8日

仙台地方振興事務所水産漁港部

## 1 6月の塩竈市魚市場の水揚げ状況

・平成26年6月の水揚量は、数量で1,998トン、金額では916,592千円で、前年同期と比較して、数量で666トン、金額では35,510千円の減少となりました。

これは、刺し網で漁獲されるヒラメの水揚げが好調なものの、鮪延縄船の水揚げ不振が影響したものです。

塩竈市魚市場水揚げ状況(平成26年1~6月累計)

区分	平成26年		平成25年		対比	
	数量(トン)	金額(千円)	数量(トン)	金額	数量	金額
1~6月の累計	6,276	3,090,042	6,811	3,219,099	92%	96%
(うち 6月)	(1,998)	(916,582)	(2,664)	(952,092)	(75%)	(96%)

## 2 「三陸塩竈ひがしもの」の取材が行われました

・みやぎの食と食文化の発信マガジン「しゅん」(河北新報発行, 10月15日掲載予定)に掲載される食材として、メバチマグロ(三陸塩竈ひがしもの)の取材が、塩竈市魚市場管理事務所や塩釜市魚市場買受人協同組合のご協力のもと7月25日に塩竈市魚市場で行われました。

この日は午前4時から塩竈市所属の近海延縄漁船、「第五十五善丸(19トン)」の水揚げと魚市場での目利き、競り、解体作業など消費者に届くまでの一連の作業について、きめ細やかな取材が行われました。

また、第五十五善丸の船頭さんからは、鮪漁の操業から鮪に対する熱い思いを、漁船を所有する有限会社村上商事の村上佳司代表取締役からは、鮪漁の歴史や「生マグロ漁」へのこだわりについてのインタビューがなされました。

10月に発行予定の「しゅん」をご覧になり、「三陸塩竈ひがしもの」をご賞味ください。

「ひがしもの」のパンフレットです。→



今回の取材で一番の大物。  
99kgありました。



解体も取材しました。

